

## 臨床研究についてのお知らせ

# 外国人結核に関する観察研究

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 呼吸器内科では外国人結核に関する臨床研究を行っております。

この研究への参加を希望されない場合には研究不参加とさせていただきますので、下記のお問合せ先にお申し出下さい。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。未成年者の方では、保護者さん等からの研究不参加のお申し出やお問い合わせに対してもご対応いたします。

研究課題名： 外国人結核に関する観察研究

背景：日本では毎年約2万人の方が結核を発病して治療を必要としています。その多くは65歳以上の高齢者であり、年々罹患率は減少してきています。しかし、一方で若年層を中心に、海外から留学や就労のために来日した外国人の中での結核を発病するケースが目立ってきています。今後さらに増加が見込まれる外国人における結核は、日本の結核対策を考える上で大きなテーマの一つです。外国人における結核治療は、言葉の問題でコミュニケーションが取りづらいことや、経済的、社会的背景が不安定である場合が多いこと、耐性結核率が高いこと、生活習慣の違いから入院加療時のストレスが高いことなど、日本人の結核患者さんにはない治療の難しさがあります。このような背景から、外国人結核の人たちの臨床的特徴や治療上の課題、対策について検討し、今後の診療に活かしていくことが重要です。

研究目的：外国国籍の方における結核症についての臨床的特徴や治療内容、治療上の課題、接触者検診の実態についての検討を行います。

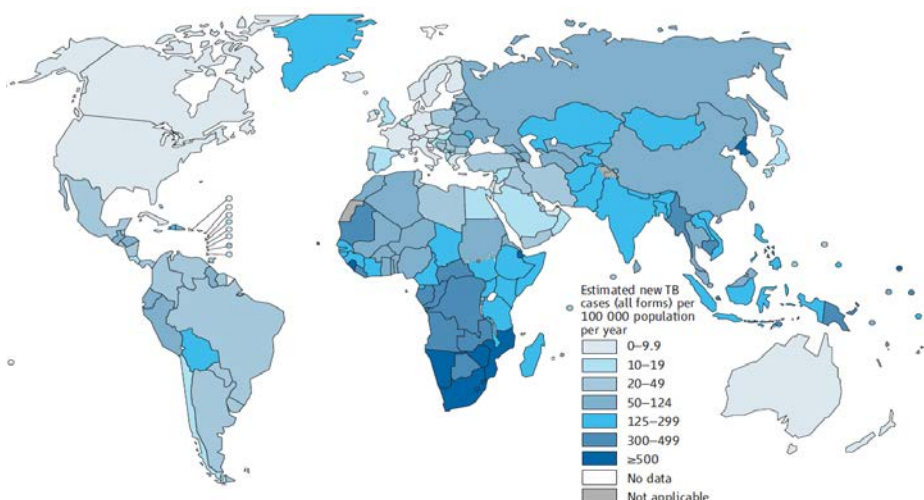
研究方法・対象者追跡期間：当院だけで行う観察研究です。結核として2011年4月～2017年3月までに入院もしくは外来で治療を開始された結核患者さん(年齢は問いません)を対象とします。

研究期間・研究に用いる情報の種類：2016年4月11日から2023年3月までに、出身国や背景、臨床的特徴と菌の感受性検査結果、治療経過等について検討します。政府が定めた倫理指針に則って個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

研究計画書等の入手・閲覧方法等：あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

個人情報の開示に係る手続きについて：本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

研究責任者：国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 呼吸器内科 高崎 仁



問い合わせ先：

国立国際医療研究センター

呼吸器内科 角和珠妃、高崎仁

TEL:03-3202-7181(代)

FAX:03-3207-1038